

2023年度 全日空商事グループ連結業績ハイライト



→ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)	科 目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	44,364	48,304	流動負債	24,582	25,319
現金及び預金	2,937	3,976	買掛金及び支払手形	10,211	11,387
売掛金及び受取手形	9,129	11,281	1年内返済予定の長期借入金	260	-
未収金	4,775	5,494	リ－ス債務	1,523	1,033
リ－ス投資資産	6,480	6,003	未払金	8,982	8,426
商品及び製品	7,448	10,246	未払法人税等	387	590
原材料及び貯蔵品	236	358	賞与引当金	325	607
短期貸付金	8,833	6,231	その他	2,893	3,274
その他	4,648	3,028			
貸倒引当金	△ 78	△ 74	固定負債	8,205	8,527
			長期借入金	-	-
固定資産	22,981	25,167	リ－ス債務	3,842	4,088
有形固定資産	6,563	6,961	役員退職慰労引当金	211	245
建物及び構築物	2,031	2,083	退職給付に係る負債	2,551	2,339
機械装置及び運搬具	607	737	その他	1,600	1,853
工具、器具及び備品	662	656			
土地	2,188	2,215	負債合計	32,788	33,847
建設仮勘定	9	4			
その他	1,064	1,265	純資産の部		
無形固定資産	1,281	1,857	株主資本	29,629	32,864
のれん	236	112	資本金	1,000	1,000
ソフトウェア	486	915	資本剰余金	26	25
ソフトウェア仮勘定	506	782	利益剰余金	28,602	31,839
その他	51	46	その他の包括利益累計額	4,614	6,441
投資その他の資産	15,135	16,348	その他有価証券評価差額金	3,420	3,235
投資有価証券	9,386	10,199	繰延ヘッジ損益	△ 24	225
長期貸付金	347	335	為替換算調整勘定	849	1,740
繰延税金資産	2,866	2,150	退職給付に係る調整累計額	369	1,239
退職給付に係る資産	924	2,013	非支配株主持分	312	318
その他	2,192	2,223			
貸倒引当金	△ 580	△ 573	純資産合計	34,557	39,624
資産合計	67,345	73,471	負債・純資産合計	67,345	73,471

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

→ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	106,066	121,297
売上原価	80,829	91,304
売上総利益	25,236	29,992
販売費及び一般管理費	21,814	25,234
営業利益又は損失(△)	3,422	4,757
営業外収益		
受取利息	18	22
受取配当金	172	150
持分法による投資利益	-	725
為替差益	365	133
雇用調整助成金	88	-
その他の	69	218
営業外収益合計	714	1,250
営業外費用		
支払利息	17	14
固定資産除却損	-	9
その他の	291	47
営業外費用合計	310	72
経常利益	3,826	5,936
特別利益		
特別利益合計	-	-
特別損失		
投資有価証券評価損	96	-
減損損失	78	-
その他の	291	-
特別損失合計	468	-
税金等調整前当期純利益又は損失(△)	3,358	5,936
法人税、住民税及び事業税	921	1,288
法人税等調整額	△ 148	490
法人税等合計	772	1,778
当期純利益	2,585	4,157
非支配株主に帰属する当期純利益又は損失(△)	46	71
親会社株主に帰属する当期純利益又は損失(△)	2,539	4,085

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- 当該事業年度における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の5類移行や企業の賃上げと価格転嫁の加速等、経済活動の正常化とデフレ脱却につながる重要な変化が見られました。しかしながら、大幅な円安の影響等による物価高が足かせとなり、個人消費や設備投資等が伸び悩むことで日本経済の回復ペースは期待に反して緩慢に推移しました。
このような状況下、全日空商事グループは事業の多軸化・収益の複層化を実現するという基本方針のもと、自社の強みを最大限に活用した事業拡大や新規事業領域への挑戦等グループ外からの収入拡大に努めてまいりました。
- 結果、グループ連結営業利益は4,757百万円となりました。なお、経常利益・当期純利益は米国全日空商事での持分利益取込やANA FESTAでの固定資産売却益を営業外収益で計上したことで、それぞれ過去最高益である5,936百万円、4,085百万円となりました。
- 事業概況と致しましては、電子(半導体)事業において中国での原材料販売市場における地場企業の台頭もありながら、EV向けを中心としたパワー半導体製品の販売が堅調に推移したことに加え、商材の多角化によるLED向け・携帯電話向け製品の販売も堅調に推移し当年度も収益の柱となりました。
ANAフーズは、ギフト事業で競合の参入により苦戦をしたものの、各事業においてコスト改革を行ったことで業績は堅調に推移しました。
アビエーション事業は防衛予算の増加を背景に、航空装備品販売により収益が伸長し、2020年度以来の黒字となりました。
(上記事業営業利益実績計：2,919百万円/対前年：+416百万円)
- 旅客が増加する中、ADF(空港免税事業)は、需要増に応じた人員体制を整えるとともにコロナ後に増加した東南アジア圏・欧米圏の旅客の購買動向に応じた商品構成に取り組み黒字を確保しました。
ANA FESTA(空港売店事業)においては、主要空港でデジタルを活用したMD・サービスの強化を実施し、着実に需要を取り込んだことで収益が伸長しました。
また、FUJISEY(土産物卸 他)は観光土産需要の高まりに加え、スポーツ団体や自治体との取引拡大もあり、過去最高益を確保しました。
(上記事業営業利益実績計：2,237百万円/対前年：+2,032百万円)

→ 連結経営成績

単位：百万円

	2022年度	2023年度	増減
売上高	106,066	121,297	+15,231
営業利益	3,422	4,757	+1,335
経常利益	3,826	5,936	+2,110
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,539	4,085	+1,546

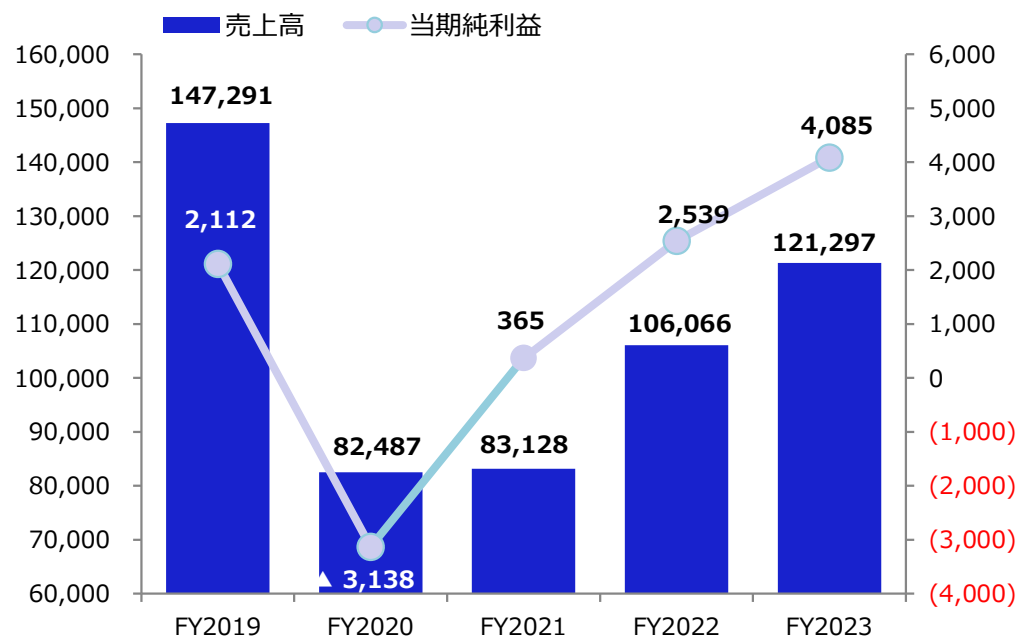
→主要財務数値

単位：百万円

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	147,291	82,487	83,128	106,066	121,297
営業利益	3,074	▲4,305	498	3,422	4,757
経常利益	3,654	▲2,682	1,474	3,826	5,936
親会社株主に帰属する当期純利益	2,112	▲3,138	365	2,539	4,085
総資産	64,759	60,656	60,585	67,345	73,471
純資産	31,063	29,871	31,265	34,557	39,624
自己資本比率(%)	47.8	49.2	51.6	51.3	53.5

→売上高・当期純利益推移

単位：百万円



→総資産・純資産推移

単位：百万円

